テーラー

(Z)T602・(Z)T702・(Z)T702-R

J-1548

J-1549

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・テーラー✚安全五憲章

1．道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。

2．農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。

3．ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。

4．バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。

5．機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確かめてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，
- 必ずエンジンを停止して行ないます。
- 燃料をこぼさない。
- こぼしたときは，きれいにふきとります。
- 火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

(2)密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと，空気を汚しガス中毒を起す危険があります。

(3)エンジンを始動するときは，主クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3．始　　動

発進するときは，周囲の安全を確かめ，機械の付近に人が近づかないようにしてください。
又，バックするときには，足元・後方をよく確かめてから，エンジンを低速にしてバックしてください。

4．作業中

(1)傾斜地で作業したり，重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。

(2)ベルトカバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。

(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。

(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．積込み・積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。

(2)積込み・積降ろし中に，トラックが動かないように，必ずトラックのサイドブレーキを確実にかけてください。

安全に作業するために

6．走　行

(1)5･6速で道路走行中，操向クラッチは切らないでください。急旋回して危険です。

(2)下り坂では，主クラッチを切ったり，変速を中立にすると，スピードが出すぎて危険ですので，行なわないでください。

(3)坂道での変速操作は危険です。平たんな所であらかじめ遅い速度に変速し，安全な速度で走行してください。

(4)坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に機体が曲ることがあります。坂道では速度を遅くし，ハンドル操作でカーブを曲るようにしてください。

(5)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。

(6)一般道路上では，自動車に道を譲るなど，交通法規・交通道徳を守ってください。

(7)カーブでは，速度を落としてハンドルを操作してください。

(8)踏切を渡る場合は，必ず一旦停止し，列車通過の有無を確認の上，速やかに渡ってください。

7．ロータリ作業

(1)耕うん爪の点検及び交換するときは，次のことを守ってください。

●平たんな場所で。●エンジンを止める。

●駐車ブレーキを掛ける。

(2)ロータリの取付け及び調整するときは，次のことを守ってください。

●ロータリ着脱レバーをいっぱいまで回してください。

(3)ロータリ作業時は，次のことを守ってください。

●爪軸など，回転部分には手を近づけないでください。

●ロータリの上に乗らないでください。

●バックのときは，必ず後方を確認し，爪変速は中立にしてください。

8．その他

(1)次のような状態では運転しないでください。

●飲酒運転。●いねむり運転。

●病気や薬物の作用で，正常な運転ができないとき。　●妊娠中の方。

(2)だぶついたズボンや上着など，回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。

(3)点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから，取扱説明書に従い行なってください。

(4)作業中又は作業後に，高温部分（マフラなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。

(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「安全注意ポスタ」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で 安全ポイント として，その都度とり上げております。更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

62341-6321-3

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買いあげいただきまして，ありがとうございました。
この取扱説明書は，テーラーの正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。
本機のすぐれた性能を充分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，充分理解してから御使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを充分に行なって末長く御活用ください。又，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。
なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取入れておりますので，お手元のテーラーと，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめ御了承くださいますようお願いいたします。

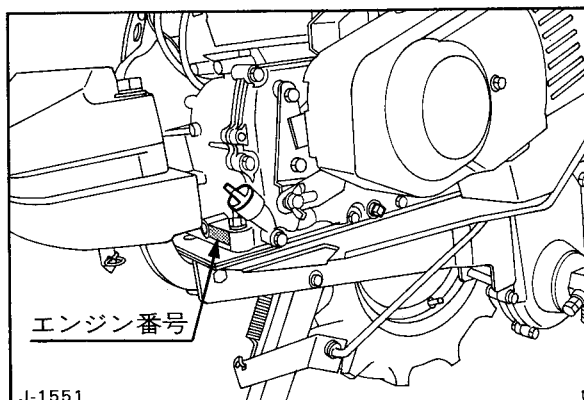
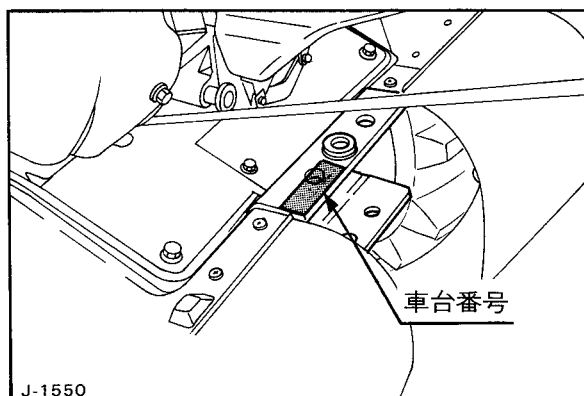
目次

サービスと保証

このテーラーには，保証書が添付してあります。詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました販売店・農協又は当社内燃機器支店に，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
その際 (1)テーラー名称と車台番号
(2)エンジン名称とエンジン番号
(3)部品御注文の際は，
部品名称とコードNo.
（純正部品表参照）
を合せて御連絡ください。

◆安全鑑定適合番号

クボタT602 ……………………802030
クボタT702 ……………………802031

◆型式認定番号

■小型特殊自動車とは，

カタピラを有する自動車，農耕作業用自動車及び運輸大臣の指定する特殊な構造を有する自動車で，下欄に該当する自動車。

車体の大きさ	全　長	4.70m以下
	全　幅	1.70m以下
	全　高	2.00m以下
最高速度		15km／時以下
原動機の総排気量		1500cc以下

■小型特殊自動車に必要な保安装置

(1)最小回転半径
トレーラを取付けた状態で，最外側のわだちについて12m以下。
(2)ブレーキ
一系統以上の制動装置が必要です。その制動距離は，制動初速度15km毎時未満の最高速度の状態で，5m以内で停止すること。

小型特殊自動車としての取扱い

このテーラーにトレーラを取付けて道路を走行すると，道路運送車両法により小型特殊自動車になるので，運輸大臣の型式認定を申請中です。

■小型特殊自動車取得の届出とナンバプレートの取付け

新たに小型特殊自動車の所有者となった者は，市町村条例により，その取得を市町村役所に届出，ナンバプレートの交付を受けなければなりません。

（詳細な手続きは市町村により相違がありますが，役所窓口での簡単な手続きでできます。）

❶小型特殊自動車取得の証明書など（販売店・農協で発行）に，軽自動車税を添えて，市町村役所に届出る。
❷届出が済むと，ナンバプレートが交付される。
❸ナンバプレートを車体の取付け位置に取付ける。

■運転免許

トレーラを取付けて公道を走行する場合は，小型特殊自動車の運転可能な免許が必要です。必ず所持してください。

■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備えて，任意保険に加入されることをお勧めします。

■道路走行時の注意

(1)型式認定時の寸法を越えるトレーラを取付けないでください。
(2)ブレーキのきかないトレーラは使用しないでください。
(3)バックミラー・ホーン・ヘッドランプ・後部反射器が，確実に作用するか点検し，整備してください。
(4)最高速度は15km／時以下です。車輪やプーリを交換して，これ以上の速度が出るようにしないでください。
(5)運転者のほかは乗車させないでください。
(6)トレーラの積載重量と寸法を守りましょう。
(7)動力取出し軸にカバーをしてください。

(3)ヘッドランプ
前方に１個のヘッドランプが必要です。
このテーラーにはヘッドランプが装備されていますので更に装備する必要はありません。

(4)後部反射器
トレーラの後面には，後部反射器を備えなければなりません。
トレーラを使用される場合は，確認の上，装備されていない場合は，販売店・農協で御購入の上，必ず取付けてください。

(5)ホーン
ホーンは必ず備え付けなければなりません。
このテーラーには装備されています。

(6)バックミラー
バックミラーは必ず備え付けなければなりません。このテーラーには装備されています。

運転装置の説明

1 スロットルレバー

エンジンの回転速度を調節するレバーです。

「高」	エンジンの回転が高速になる。
「低」	エンジン回転が低速になる。

2 主クラッチレバー

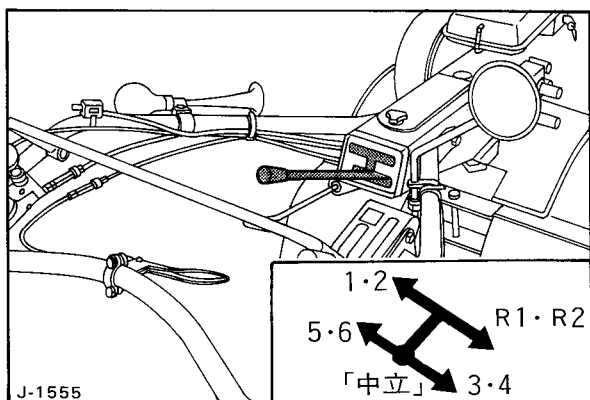
エンジンから車軸への動力を断続します。

安全ポイント

(1)トレーラ運搬作業や路上走行時，主クラッチレバーを急激に入れますと，エンストをしたり，急に走り出したりして危険です。

(2)後進のときは，ハンドルが持上がり危険ですので，ゆっくり主クラッチを入れてください。

3 主変速レバー

副変速レバーとの組合せにより，前進6段・後進2段の変速ができます。作業に適した速度をお選びください。

注意

● 前進後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

安全ポイント

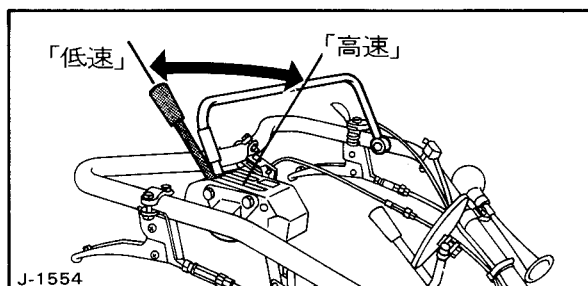
(1)誤操作による危険防止のため，変速操作はなるべく主クラッチを確実に切ってから行なってください。

(2)湿田車輪など大径車輪を使用しての「後進」は危険ですからさけてください。やむをえず「後進」するときは，後方の安全を確め，耕うん部が持上がらないよう，ハンドルを押えながら行なってください。

(3)「前進6速」「後進2速」は高速で危険です。トレーラ作業のほかは使用しないでください。

副変速レバー	主変速レバー
「低速」	「1速」 「R1」 「5速」 「3速」 「中立」
「高速」	「2速」 「R2」 「6速」 「4速」 「中立」

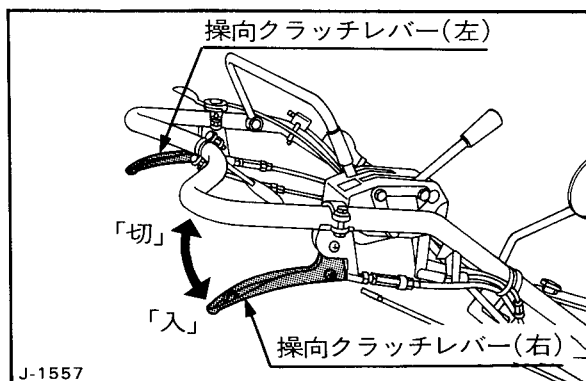
4 副変速レバー（オートクラッチレバー）

「高速」「低速」の切換えができます。
このレバーは，主クラッチ「入」の状態でないと作用しません。

安全ポイント

● ロータリ作業は副変速「低」（前進1速）で使用してください。2・4・6速はロータリが高速回転して危険です。

5 6 操向クラッチレバー（左）（右）

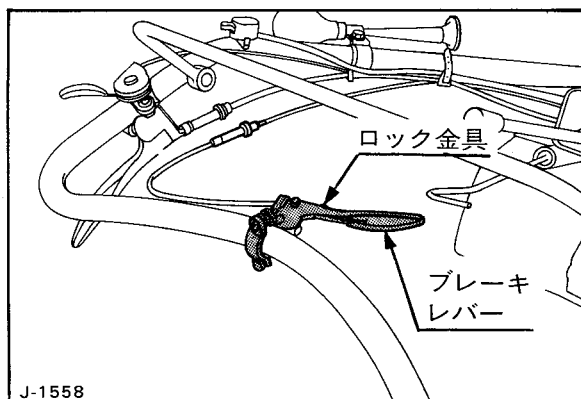
左右それぞれの車軸への動力を断続するレバーです。旋回するときに使用します。

左側のレバーを握る。	左に旋回する。
右側のレバーを握る。	右に旋回する。
両方のレバーを握る。	両車輪の回転が止まる。

安全ポイント

(1)坂道を運行している場合，又はトレーラ運搬の場合は，操向クラッチを切ると，急激に機体の方向が変って危険ですから，操向クラッチは切らず，ハンドルのみで操作してください。

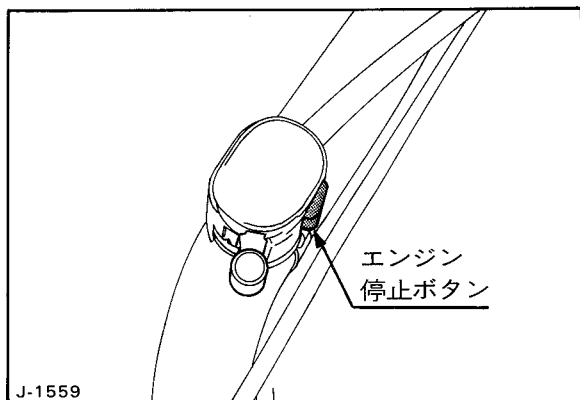
(2)5・6速でのロータ作業時，操向クラッチを切ると危険ですから，エンジン回転を下げてから操作してください。

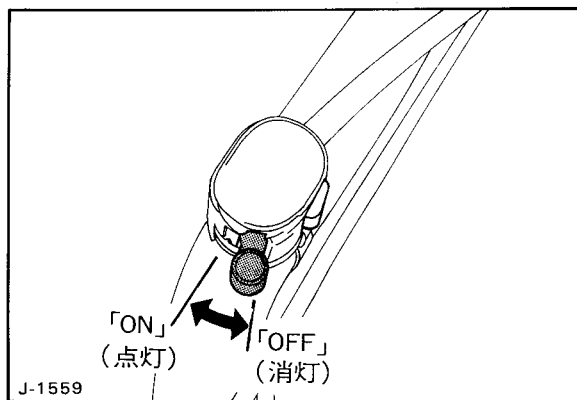
7 駐車ブレーキ

レバーを握るとブレーキがききます。更にロック金具を作用させると，レバーがロックされ，駐車ブレーキになります。

安全ポイント

- このブレーキレバーは駐車ブレーキのため，路上走行中は使用しないでください。走行中使用すると，ハンドルが上（前進時）下（バック時）に急激に揺れます。

8 エンジン停止ボタン

エンジンを停止するときに使用します。
ボタンを押すとエンジンが停止します。

9 ライトスイッチ

ONのマークでライトが点灯します。OFFで消えます。

10 スタンドロッドレバー

手前に引くとスタンドが引込み，前方に押すとスタンドが出ます。

11 警報器

ゴム部を握ると音が鳴ります。

運転のしかた

始動前の点検

エンジン始動前には，必ず仕業点検（毎日始動前の点検）を行なってください。(８ページ参照)

エンジンの始動

❶燃料コックレバーを「０」の位置にします。

J-1706

❷スロットルレバーを「高」，「低」の中間の位置にします。

J-1566

❸チョークレバーを全閉にします。

J-1707

〔チョークの使い方〕

エンジンが冷えているときは，チョークレバーを全閉にします。

エンジンが暖かいときは，夏冬に関係なく，チョークレバーは操作しません。

❹リコイルスタータのロープハンドルを，少し引き，引掛りの手応えを確かめてから勢いよく引張ると，エンジンは始動します。エンジンが始動したらロープハンドルを静かに元へ戻してください。

J-1565改

❺エンジン始動後エンジンの運転調子を見ながらチョークレバーを元へ戻してください。
(チョークレバーを全開にします)
２～３分空運転してから仕事にかかってください。

安全ポイント

(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
(2)リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物，障害物がないか確かめてから始動してください。
(3)エンジン運転中は，マフラに手を触れないでください。

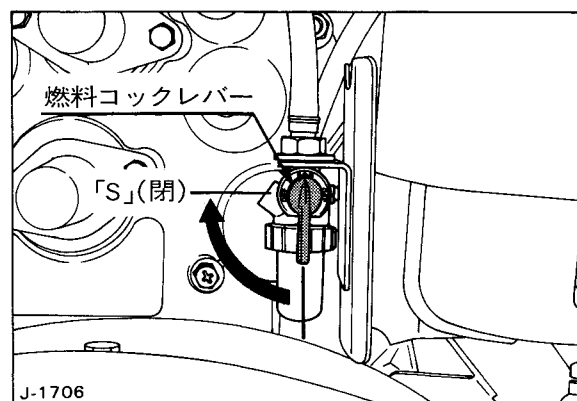
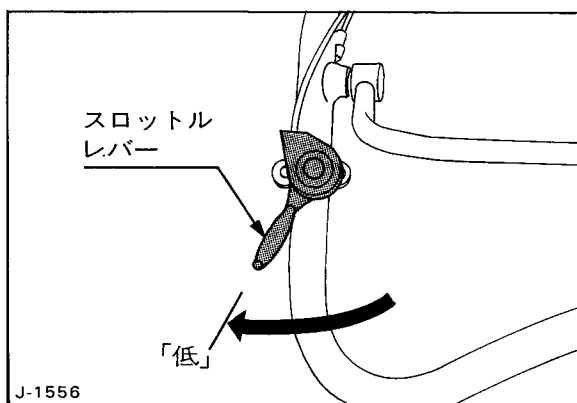
テーラーの運転

❶主クラッチレバーが「切」の位置にあることを確認の後，主変速レバー・ロータリ変速レバー(ロータリ付)を必要な変速位置に入れます。
❷主クラッチレバーを「入」にすると発進します。

安全ポイント

● トレーラ作業のほかは，前進６速・後進２速は使用しないでください。

エンジンの停止

❶エンジン回転を低速にしてください。
❷エンジン停止ボタンを押してください。
❸燃料コックレバーを「S」(閉)位置にしてください。

安全ポイント

● エンジン停止後は，マフラが熱くなっていますので，手を触れないようにしてください。

テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには

仕業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1．前日使用の異常箇所。
2．テーラーの回りを歩いて，

(1)燃料は充分か。 （9ページ参照）
(2)エンジンオイルの量，及び汚れ。 （9ページ参照）
(3)ミッションオイルの量，及び汚れ。 （10ページ参照）
(4)ロータリケースオイルの量，及び汚れ。（ロータリ付） （17ページ参照）
(5)エアークリーナの汚れ。 （11ページ参照）
(6)タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。 （14ページ参照）
(7)各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。 （10ページ参照）
(8)各部の油もれ。
(9)各部の損傷，及びボルト，ナットの緩み。

ならし運転（最初の10アール使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

定期点検

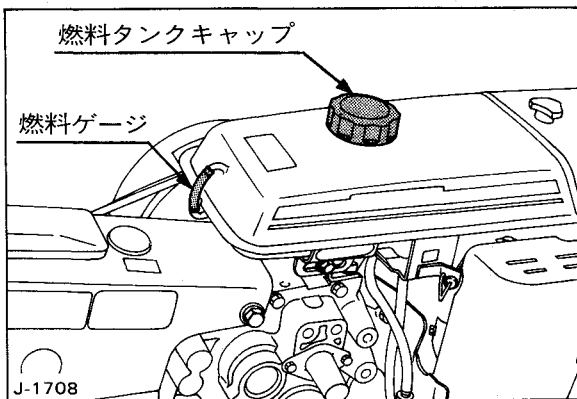
期間	項目	参照ページ
50時間使用ごと	送油管の点検	
	エアークリーナの点検	11ページ
100時間使用ごと（最初50時間使用後）	エンジンクランクケースのオイル交換	9ページ
100時間使用ごと	燃料フィルタの掃除	9ページ
	エアークリーナの掃除	11ページ
	バルブクリアランスの点検	販売店・農協に依頼
	軸受け，ヘッドなどの締付け部点検	
300時間使用ごと	燃料タンクの掃除	
	エキゾーストバルブのすり合せ・掃除	販売店・農協に依頼
春・秋おのおの使用前（最初50時間使用後）	トランスミッションケースオイルの交換	10ページ
1000時間使用後	インレットバルブすり合せ・掃除	販売店・農協に依頼
	シリンダの掃除	
	ピストンの掃除	

燃料について

安全ポイント

● 給油中エンジン停止・火気厳禁。

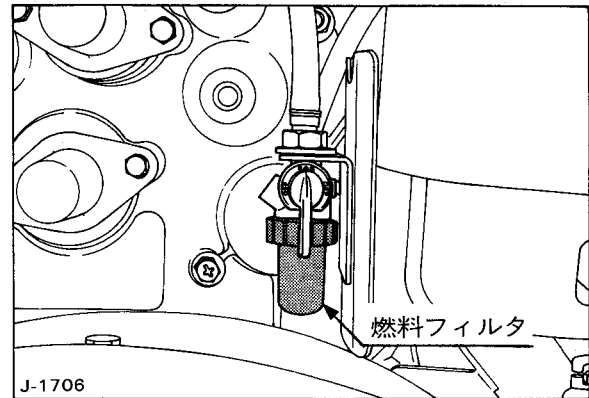
■燃料の給油

始動前には，必ず燃料が充分入っているかどうか点検してください。
不足の場合は，燃料タンクキャップを外して燃料を補給してください。

燃料の種類	満たん容量
自動車用レギュラーガソリン(無鉛)	4.2ℓ

■燃料フィルタの清掃

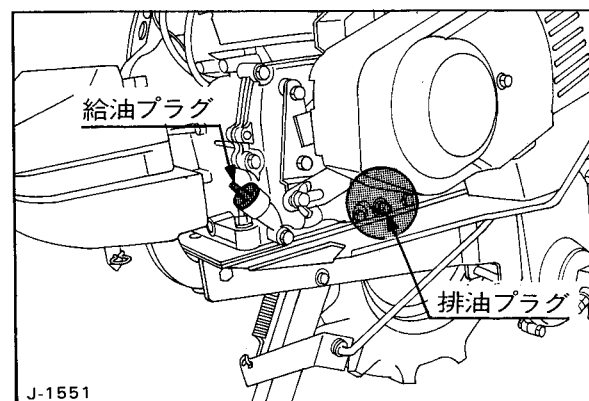
(1)燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，カップの底にたまります。
(2)フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。

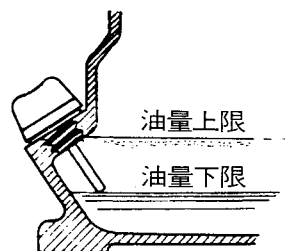
注意

● フィルタポットの取付けは，ガソリン洩れのないよう完全に締付けてください。

各部の給油・点検とオイル交換

■エンジンクランクケースオイル

◆給油のしかた

オイルの種類	点検方法	規定量
クボタ純オイル（ガソリン・灯油エンジン用）	エンジンを水平状態にし，給油口の口元まで。	0.9ℓ

注意

● 粗末なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますから，販売店・農協でクボタ純オイルG20W20又はG30と指定のうえお求めください。

夏	20℃以上	G30
冬	5℃以下	G20 W20

注意

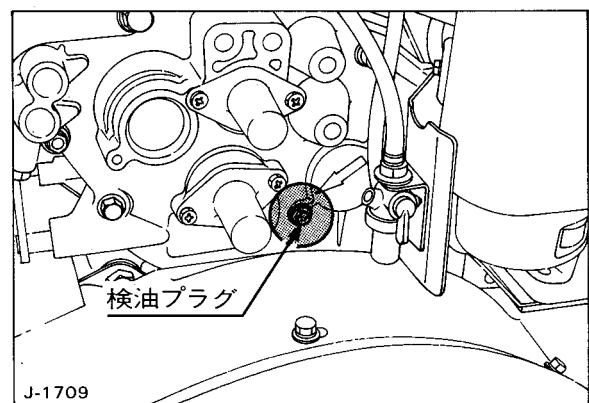
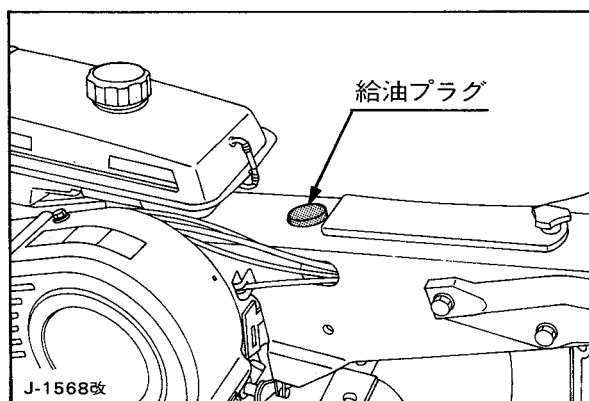
● 新しいオイルと交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出するようにします。
それには，運転使用直後，オイルが暖まって流動しやすい状態のうちに排出しましょう。
ゴミがオイルに混じった状態で排出できます。

■トランスミッションケースオイル

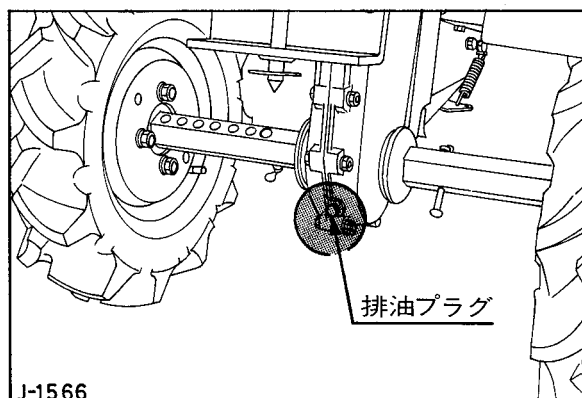
◆給油のしかた

オイルの種類	給油方法	規定量
クボタ純オイル M90又はM80B（ミッション用）	機体を水平にして，給油口より給油。検油プラグからオイルがあふれ出るまで入れる。	約3.1ℓ

J-1568改

J-1709

◆排出方法

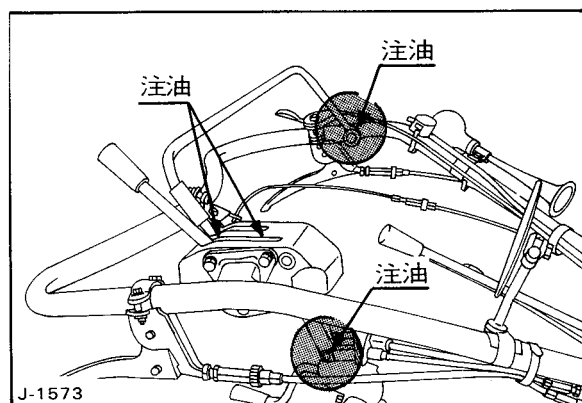
トランスミッションケース下部の排油プラグを抜いて排出してください。

J-1566

■各支点・ワイヤへの注油

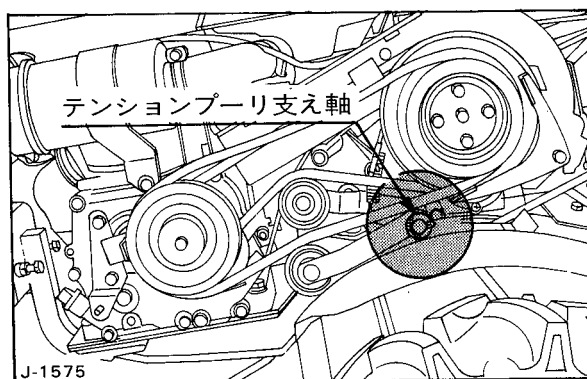
オイルの種類	規定量
クボタ純オイルG30	適　量

◆主クラッチレバー支点の注油

主クラッチレバーと副変速レバーの作動を円滑にするため，主クラッチの作動軸や連結金具に注油してください。

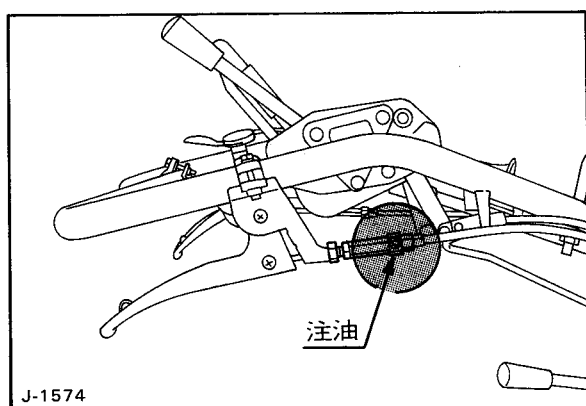
J-1573

◆テンションプーリ支え軸の注油

テンションプーリの作動をよくし，主クラッチの「入」「切」を円滑に行なうため，テンションプーリ支え軸に注油してください。

J-1575

安全ポイント

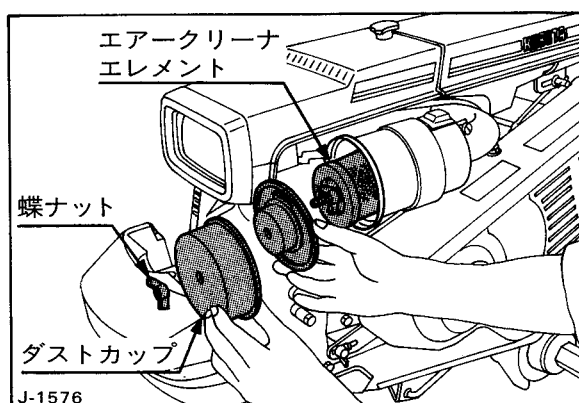
(1)ベルトカバーを取外した場合は，必ず取付けてから作業をしてください。
(2)ベルトカバーを外したまま，エンジンを始動しないでください。

◆各種ワイヤの注油

操向クラッチワイヤ，主クラッチワイヤ，ブレーキワイヤなどには，調節金具の箇所に注油口がありますから，注油してください。

◆その他のしゅう動部

その他，接合部など各しゅう動部分にも，適量注油してください。

エアークリーナの清掃

(1)ダストカップにたまったゴミを捨て，内部をきれいにふいてください。
(2)エアークリーナエレメントは，軽くたたきながらゴミを落とすか，又はエレメントを回しながら，圧縮空気を内側から吹付けてください。
カーボンや油分の多い場合は，中性洗剤に15分間浸してから，数回ザブ洗いを行ない，ザブ洗いのあと清水でよくすすいでから，風通しのよい場所で自然乾燥してください。乾燥のとき，圧縮空気や火気は使用しないでください。
(3)エレメントは，１年ごとか，又は６回清掃後，新品と交換してください。
(4)エレメントに穴を開けたときは，新品と取換えてください。穴を開けたままで使用すると，エンジンの寿命を短かくします。

使用後の清掃

(1)使用後は，必ずその日のうちに機体の清掃を行ない，各部についている泥を洗い落とします。

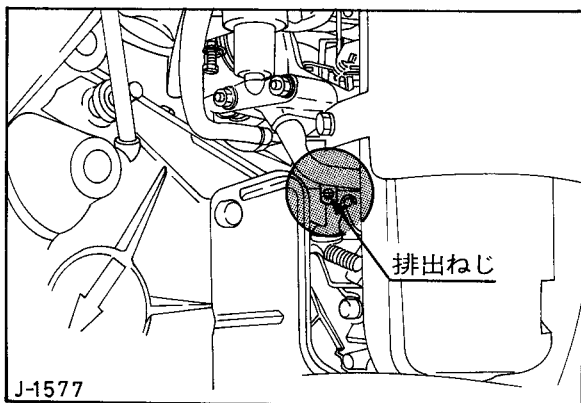
(2)水洗後は，必ず水をふき取り，摩擦しゅう動部がさびないように油脂を塗布してください。

(3)特にファンカバーを随時外して冷却フィン部の掃除を行なってください。
冷却フィン部にゴミや泥が詰まりますとエンジンが冷却不足となり，焼付きなどの事故を起すことがあります。
防水カバーは随時外して，ゴミや泥が詰まらないよう掃除を行なってください。

長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく，各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，各部の水分を乾いた布なでど充分にぬぐい取り，摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。
その他，次の事項について手入れしてください。

(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管してください。

(2)燃料を抜取ってください。
使用後，燃料をそのままにしておきますと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあります。気化器内のガソリンは矢印の排出ねじをゆるめて抜取り，燃料タンク内はポンプなどを使用して全部抜取ってください。

安全ポイント

- 燃料がこぼれたときは，すぐに布切れなどでふきとってください。

(3)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。

(4)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃してください。ゴミがこびりついて次回の使用の際，清掃が困難になります。

(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入ると，来期の始動が困難になるので，リコイルスタータの始動用ロープを引張って，圧縮位置にしておいてください。

(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

安全ポイント

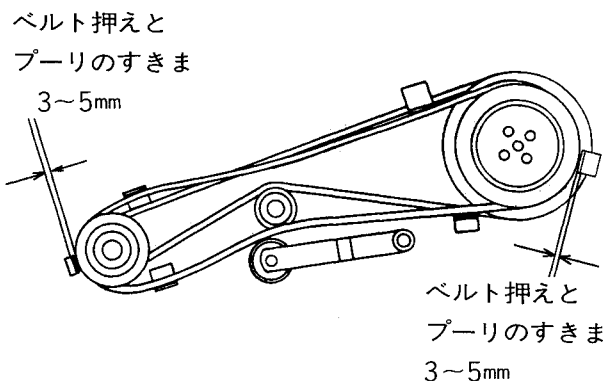
- 小部屋に格納しようとするときは火災の危険があるため，エンジンが冷えてからにしてください。

保守と調節

主クラッチの調節

主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーです。
運転の場合にエンジンの動力を充分に伝達し，又停止の場合は，確実に停止するように次の事がらについて調整してください。

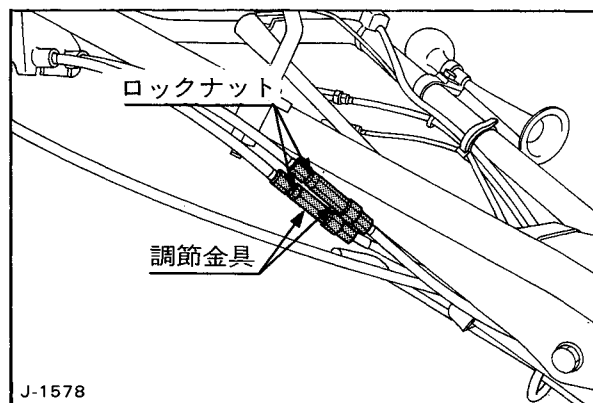
■ベルト押えの調節

主クラッチを入れた状態で，ベルトと上下ベルト押えの間隔を，下図のように調節してください。

J-1623

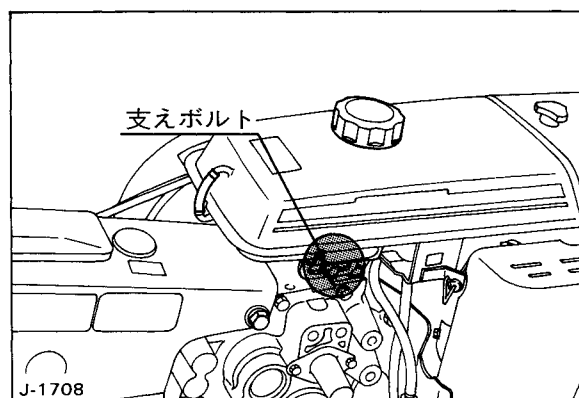
■主クラッチワイヤ

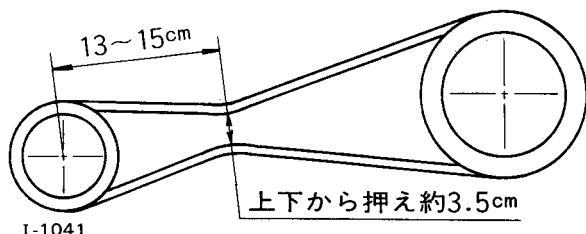
主クラッチレバーを入れてもベルトがスリップする場合，又主クラッチレバーが重すぎる場合などには，主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
ベルトの張り強さ	主クラッチを入れた状態で，ベルト中央部を指で押えて約１cmたわむ程度。

J-1578

■エンジン前後によるベルトの調節

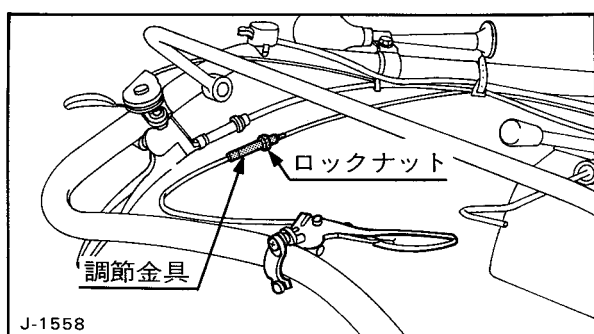
ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取換えた場合などにおいて，主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動調節できますので，エンジン固定ボルト４本と，燃料タンク下部の燃料タンク支えボルトを緩めて調節し，調節後は確実にボルトを締付けてください。

J-1708

■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，高低２本のベルトを同時に交換し，ベルトのたわみ代は，エンジンプーリ側から13～15cmの位置で，約3.5cmになるよう，エンジンを移動させて調節してください。

安全ポイント

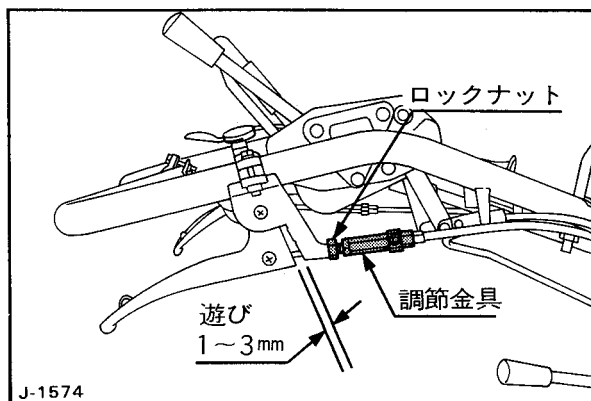
(1)ベルト調節，ベルト掛換えを行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチ「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。
(3)調整，掛換えが終ったら，必ずベルトカバーを取付けてください。

駐車ブレーキの調節

ブレーキレバーを握り，ロック金具を作用させると駐車ブレーキになりますが，ブレーキがききにくい場合は，次の要領で調節してください。
調節金具のロックナットを緩め，左に回して長く引き出し，確実にきくことを確認します。
調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

操向クラッチの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，又操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は，調節金具のロックナットを緩めて調節します。

操向クラッチ	調　節　金　具
切れにくい場合	長くする。
入りにくい場合	短くする。
適正な調節	操向クラッチが完全に入っていることを確認して，レバーの遊びが１～3mm程度になる。

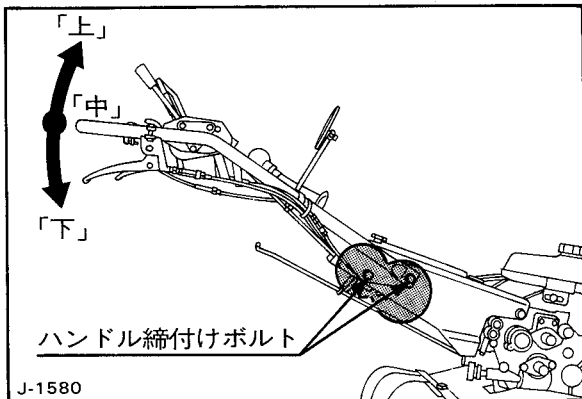
調節後は調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

タイヤの空気圧の調節

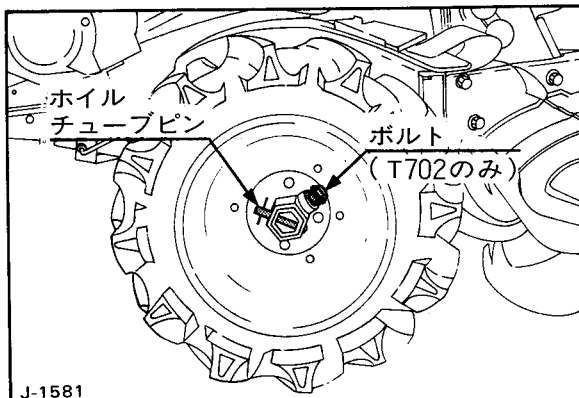
空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	1.2kgf/cm²

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

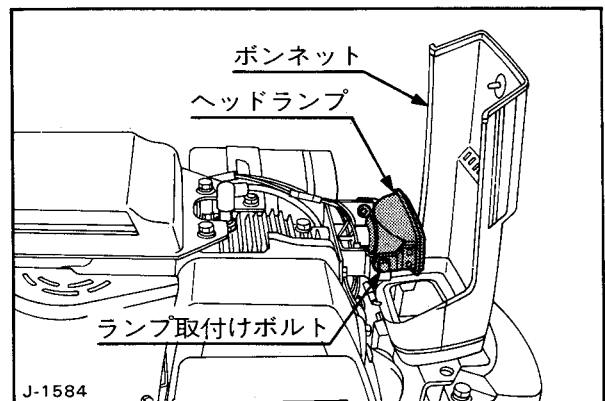
手元ハンドルの上下調節

手元ハンドルの高さは，３段に調節できます。締付けボルトを緩め，使いやすい位置に調節します。
調節後は，ハンドル締付けボルトを確実に締付けてください。

車輪間隔調節と車輪交換

作業条件に応じて，車輪間隔調節と車輪交換は次のとおり行ないます。
車輪ハブと六角ホイールチューブは，ピン１本を通して取付けてありますので，ホイールチューブピンを抜いて，車輪間隔の調節や交換を行なってください。

安全ポイント

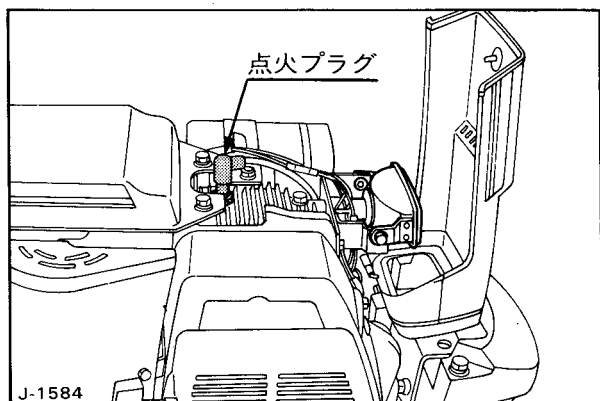
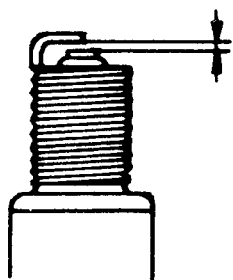
(1)必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)車輪交換は平たんな場所で行なってください。

ヘッドランプ照射角度の調節

作業に応じてヘッドランプの照射角度の調節を行なう場合は，ボンネット締付け用マスコットボルトを緩め，ボンネットを前方へ開いて，ボンネットステーに取付けてあるランプ取付けボルトを緩めて，上下に動かし，お望みの角度に調節してください。
調節後は，取付けボルトは確実に締付けてください。

安全ポイント

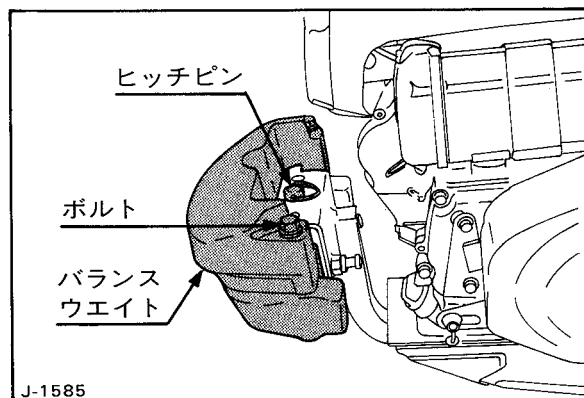
(1)必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)路上走行時は他の走行の支障にならないよう，主光軸は必ず下向き照射になるようにしてください。(道路運送法車輌法の保安基準第32条による)

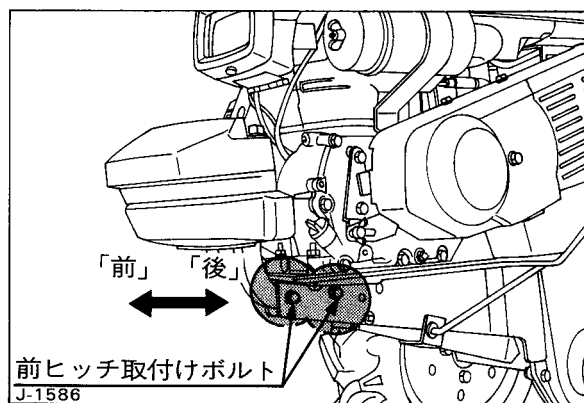
点火プラグの調節

ボンネット締付け用マスコットボルトを抜いてボンネットを開き，プラグ用ボックススパナでプラグを外して，電極間隔を0.6～0.7mmに調節してください。
なお，調節は６ヵ月に一回点検調節してください。

注意

- 締付け時は，はじめ手でねじ込んでからボックススパナを使用してください。始めからボックススパナで締込むと，ねじ山をつぶすことがありますので注意してください。

バランスウエイト

T702にはバランスウエイト２個，T602にはバランスウエイト１個を取付けていますので，アタッチメントや作業条件によって，バランスを調節してください。

前ヒッチ前後調節

アタッチメントや作業条件によりバランスの調節が必要な場合，前ヒッチ取付けボルト２本を外し前ヒッチを前後に移動させ，バランスの調節をしてください。

ロータリ装置の取扱い【ロータリ付仕様】

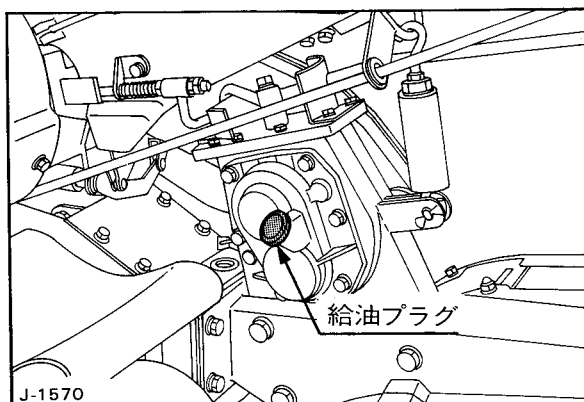
給油と点検

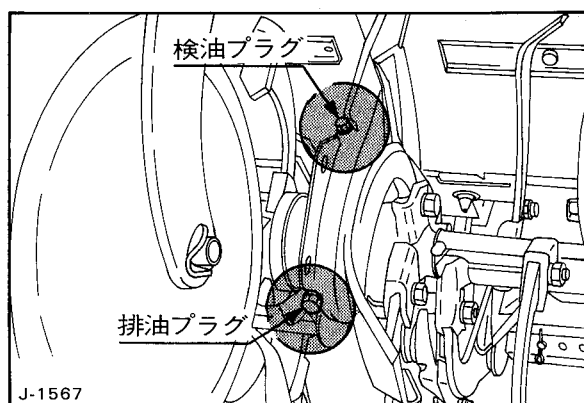
■ロータリケース

最初50時間使用後に，その後は春・秋それぞれの使用前にオイルを交換してください。

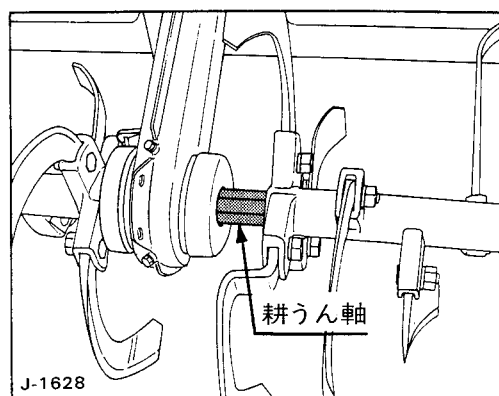
◆給油のしかた

ロータリケース上部の給油プラグを外して給油します。

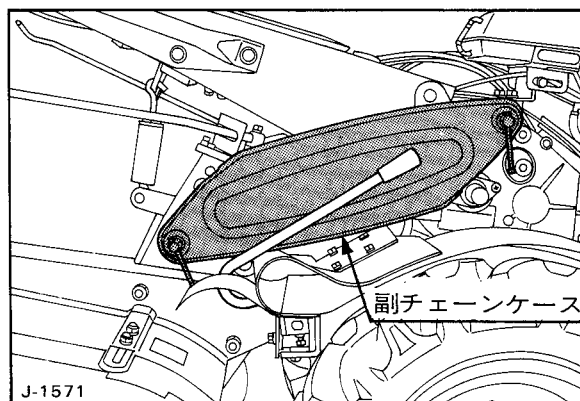
オイルの種類	給　油　量
クボタ純オイル（ミッション用）M90又はM80B	前フレームを地面に付けて，検油プラグまで入れる。（規定量1.0ℓ）

◆排油のしかた

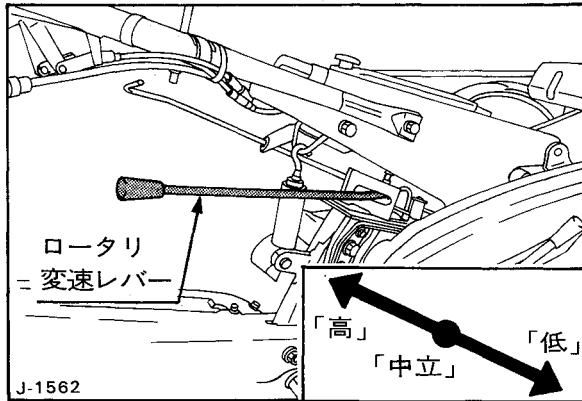
ロータリケース下部の排油プラグを抜いて排出します。
排出後はプラグを元のように締付けてください。

■耕うん軸

耕うん軸に油を塗布しておくと，爪軸の着脱が楽になります。

オ　イ　ル　の　種　類	給　油　量
クボタグリース，又はクボタ純オイルG30	適　　量

■副チェーンケース

50時間ごとに，副チェーンケースカバーを外し，良質グリースを適量補充してください。

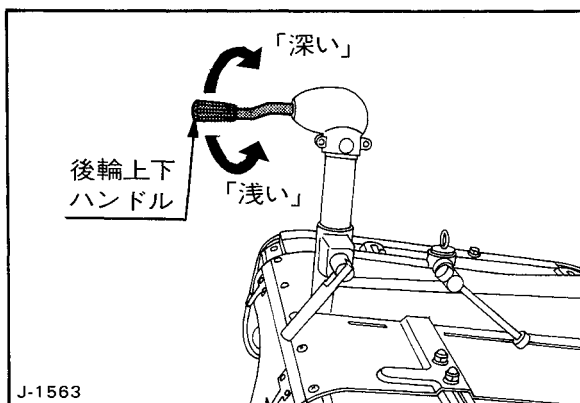
オ　イ　ル　の　種　類	給　油　量
クボタチェーングリース又は良質グリース	適　　量

ロータリ変速レバー

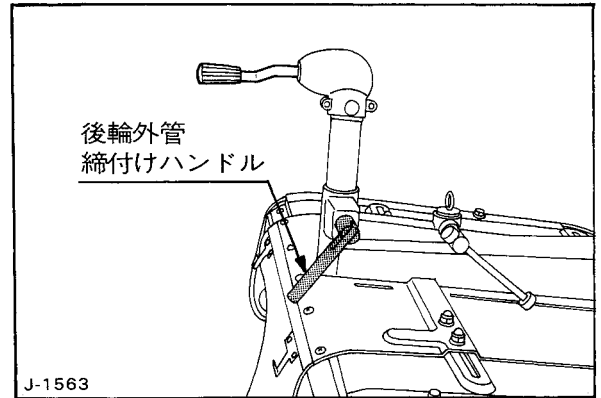
ロータリ変速レバーを「低」「高」の位置にすると，爪軸が回転します。「中立」に戻すと停止します。

安全ポイント

- ロータリ変速レバーが「低」「高」のときは，けん制装置の作用により，主変速レバーは「後進」に入りません。
  後進の場合は，必ずロータリ変速レバーを「中立」にして，爪回転が止まっていることを確認の上で行なってください。

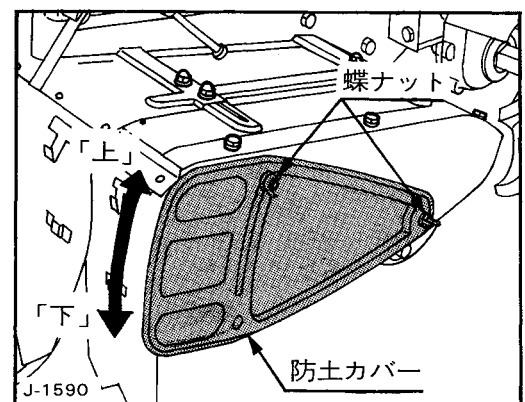
後輪上下ハンドル

耕うん深さの調節を行なうハンドルです。

右に回す。	耕うんが深くなる。
左に回す。	耕うんが浅くなる。

後輪外管締付けハンドル

前記の後輪ハンドルは微量調節用で，多量に調節する場合は，この後輪外管締付けハンドルを緩め，外管を上下させることによって調節します。

防土カバーの上下調節

畝立て耕うんや内盛り耕うんなど，耕うん条件によってカバーを上下調節すると，耕うん作業を楽に行なうことができます。
調節は，防土カバー取付けの蝶ナットを緩めてします。

耕うん爪の向き	作業の種類	カバーの位置
外向き	荒起し 畝立て耕うん	カバーを上げる
内向き	内盛り耕うん 代かき作業	カバーを下げる

副チェーンケースの前後入換え

安全ポイント

- 入換えは，平たんな場所で行なってください。

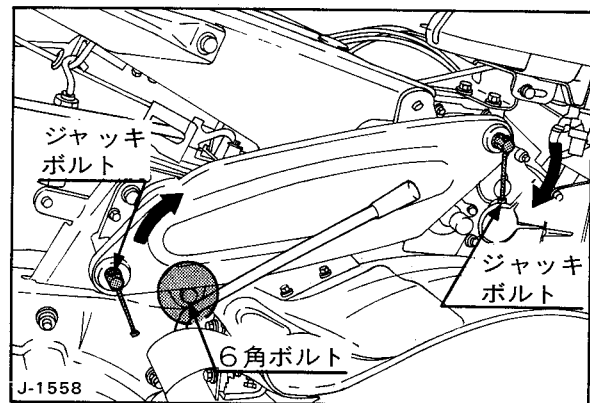
砕土のあらさは，ロータリ変速レバーで「高」「低」2段の変速ができますが，いっそう細かい砕土を必要とする場合は，副チェーンケースを次の通りに前後入換えてください。

❶ジャッキボルト2本，6角ボルト1本を外してください。

❷副チェーンケースを伝動軸から外します。

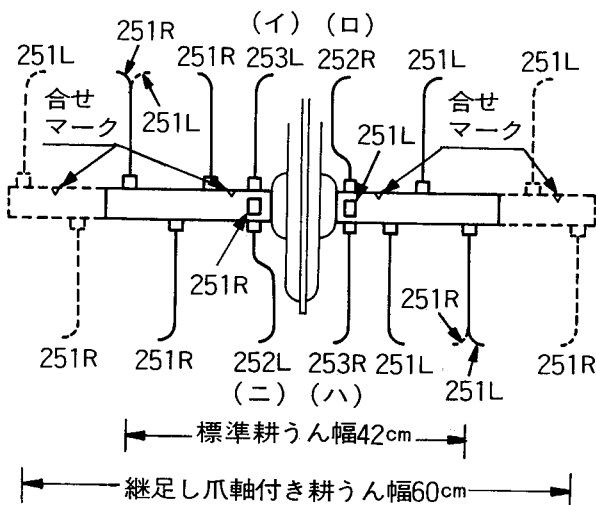
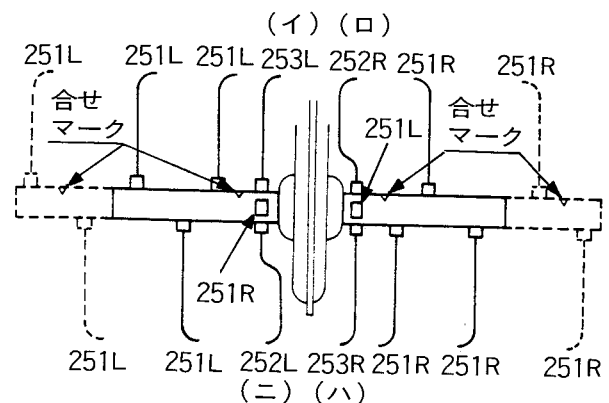
❸副チェーンケースを前後にひっくり返し，伝動軸に組付け，ジャッキボルト2本，6角ボルト1本を締付けてください。

副チェーンケースカバーに「大」「小」の浮き出し文字があります。

「大」がロータリケース側にあるとき	爪回転が遅くなり，砕土があらくなる。
「小」がロータリケース側にあるとき	爪回転が早くなり，砕土が細かくなる。

耕うん爪の取付け方

(1)爪軸ブラケットと耕うん爪の番号を合せ，間違いのないように取付けてください。

(2)爪軸は，左右の合せマーク(白色)が一列になるように組付けてください。

◆平面耕うん・畝立て，畝くずし作業の場合

◆後二輪を使って内盛り耕うんを行なう場合

■爪の取付け方

注意

(1)いずれの耕法においても，必ず決められた爪を使ってください。

(2)爪を抜いて作業をすると，爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので御注意ください。

安全ポイント

- 爪を交換したり，増締めするときは①機械を平たんな広い場所に置き，②エンジンを止め，③駐車ブレーキを掛け，④安全を充分に確かめてから行なってください。⑤更に爪軸の下に木の台などをしておくとより安全です。

ロータリ部の取外し・取付け

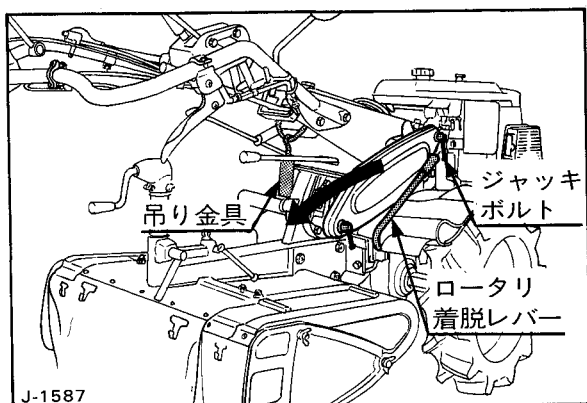
安全ポイント

- 取外し・取付けは，平たんな場所で行なってください。

■ロータリ部の取外し方

❶スタンドを立てて機体を安定させる。

❷副チェーンケースのジャッキボルト（ミッションケース側）を外し，スナップピン（ヒッチピン用）を抜く。

❸レバーを矢印の方向に回す。

❹ハンドルを上下に動かすと，ヒッチピンが下に抜けます。

❺後輪外管又は副チェーンケースを持って，伝動軸から副チェーンケースを外し，ロータリ吊り金具をハンドル下方から外すと，ロータリが外れます。

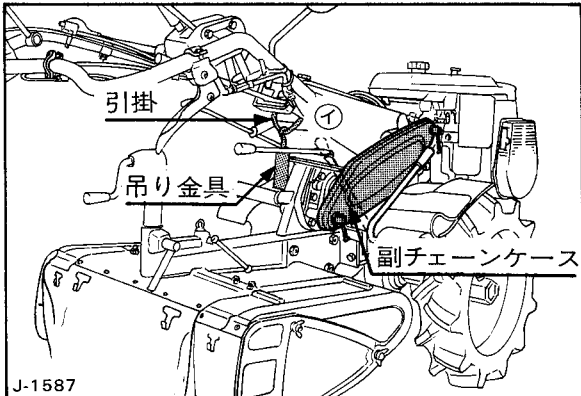
安全ポイント

(1)ロータリを取外したあとは，伝動軸にグリースを塗布した後，カバーを取付けておいてください。

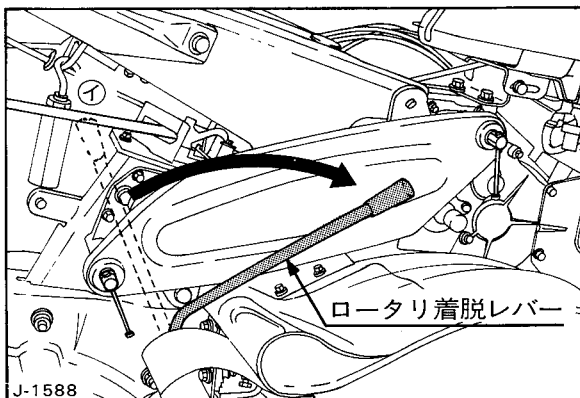
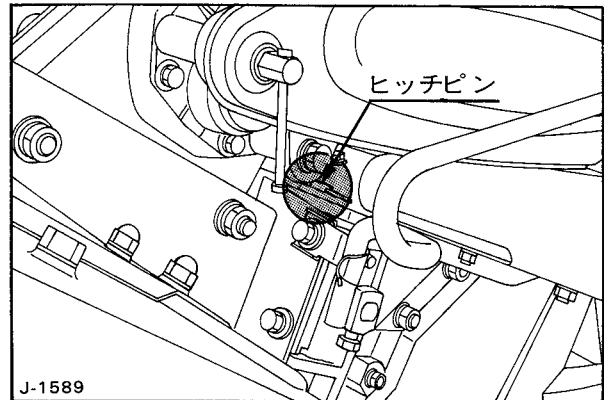
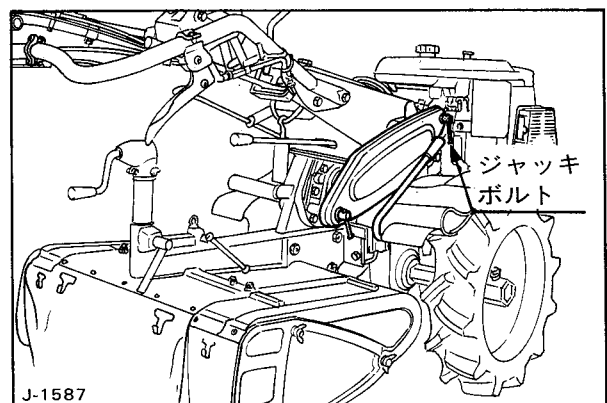
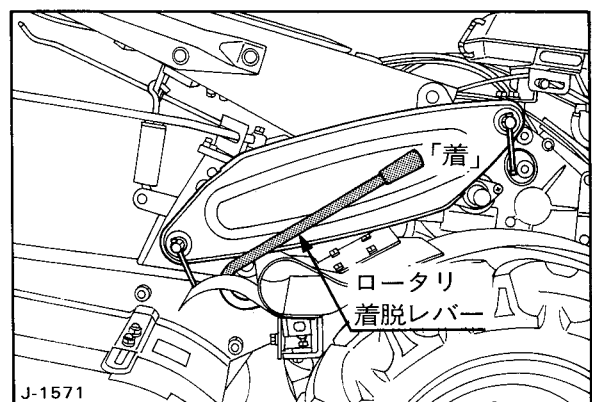
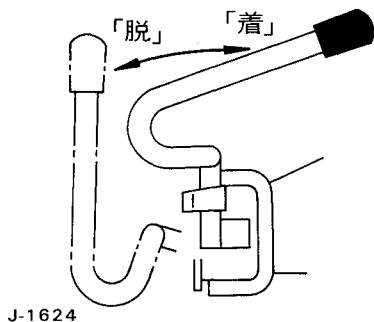
(2)ロータリ装着用のヒッチピンはトレーラ作業に使用しないでください。トレーラ装着用のヒッチピンは付属品箱に入っています。

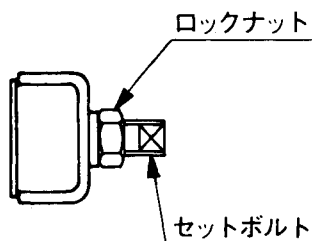
■ロータリ部の取付け方

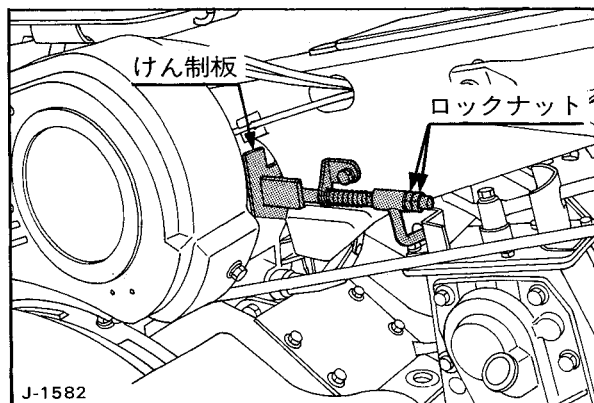
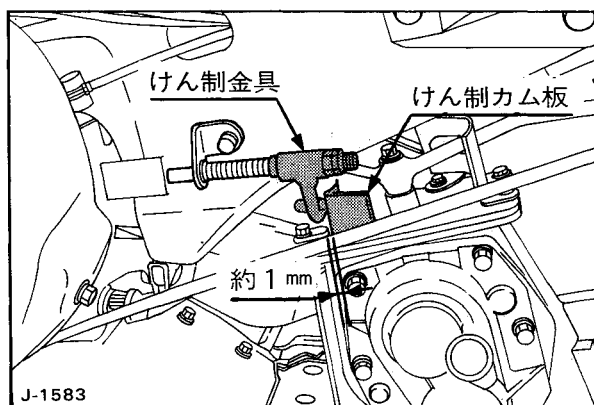
❶ロータリのヒッチ受座をなるべく水平にします。

❷副チェーンケースとロータリケースは組付けたままにしておき，ロータリつり金具をハンドル下方に引掛け，ロータリのヒッチ受座を本機ヒッチの下面にのせます。

注意

● ロータリ部を取付けるとき，レバーは必ず㋑の位置にしておいてください。

❸機体を前に倒し，ミッションケースの伝動軸に副チェーンケースのスプロケットをはめ込みます。
スプラインみぞが合わない場合は無理に押し込まずに，爪変速レバーを入れ，爪軸を回しながらスプラインみぞを合せて組付けてください。

❹本機ヒッチとロータリのヒッチ受座の穴を合わせ，ヒッチピンをさし込みます。
ヒッチピンが完全に入った状態で，ヒッチピン上面をバネで押えてください。

❺副チェーンケースのジャッキボルト（ミッションケース側）を締付けます。

❻ロータリ着脱レバーを「着」の位置にセットしてください。これでロータリの取付けは完了です。

注意

● 出荷時，充分な調整を行なっていますが，ロータリ部を取付けた状態で，ロータリ部全体がガタつく場合，ロックナットを緩めて，セットボルトを多少(¼～½回転程度)増締めして，ロックしてください。(左右2ヵ所)
又，レバーが重くて作動しない場合は，逆にセットボルトを多少(¼～½回転程度)緩めて，ロックしてください。(左右2ヵ所)

ロータリけん制装置の調節

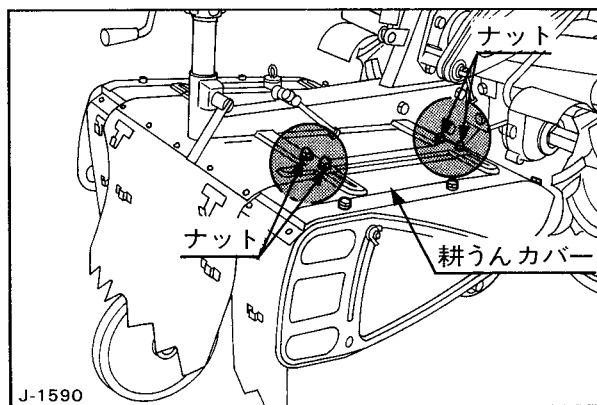
ロータリの爪変速と後進変速に安全装置をもうけてあります。
爪変速が「低速」「高速」に入っているときは「後進」に入りません。
主変速が「後進」に入っているときは爪変速は「低速」「高速」に入りません。
取外したロータリを再び装着する場合は，変速けん制装置が作用するよう次の要領で調節を確実に行なってください。

ロータリ装着後，爪変速レバーが中立の位置でけん制カム板とけん制金具のすきまが約1mmになる位置にけん制金具をロックナットで固定してください。

注意

● けん制カム板の支点軸には随時注油してください。

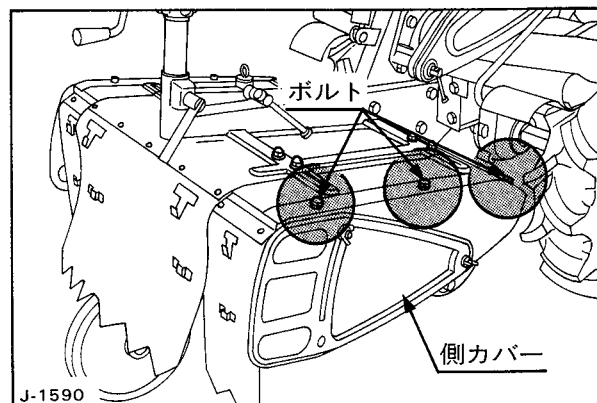
安全ポイント

(1)調節後はけん制装置が作用しているか爪変速レバーを2～3回作動させ確認してください。
(2)後進で爪回転させることは，大変危険ですので，なるべく使用しないようにしてください。やむをえず使用するときは，使用後，必ずけん制装置を元に戻し，後進で爪が回転しないように注意してください。

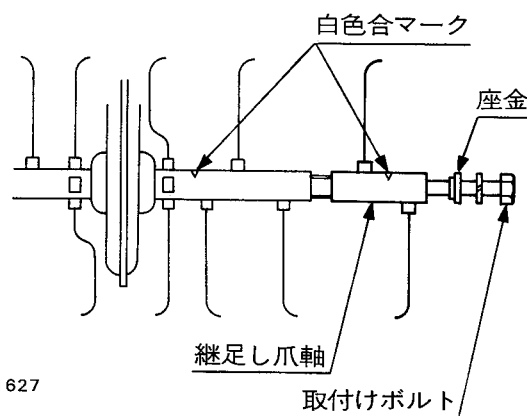
耕うんカバーの出し入れ

継足し爪軸を取付けて広幅耕うんを行なうときは，耕うんカバー取付けの調節用ナットを緩め，外に引き出し広くして使用してください。

安全ポイント
- エンジンを止めて行なってください。

側カバーの取外し

ロータリプラウ，ラセンスキ，うね立て爪などを取付け，耕うん幅を60cm以上にする場合は，取付けボルトを外し，側カバーを外して使用してください。

安全ポイント
- エンジンを止めて行なってください。

継足し爪軸の取付け方

耕うん幅は標準42cmですが，出荷別標準により60cmの継足し爪軸が付属しているものもあります。取付けは次のように行なってください。
左右の爪軸締付けボルトを抜取り，継足し爪軸を取付け，先に締付けていた締付け座金と，付属の長い継足し爪軸取付けボルトで，確実に締付けて取付けてください。

注意
- 爪軸には白色の合マークが付けてありますので，一直線になるように取付けてください。

安全ポイント
- エンジンを停止して行なってください。

後二輪の取付け方

出荷別標準によって付属しているものと，付属していないものとがありますが，取付け方は次のように行なってください。
後輪ハンドルを左に回して後一輪を外管から抜取り，後二輪固定棒をうね立て取付け穴に取付け，後二輪の内管に差し込み，後輪ハンドルを右に回して上方に上げていきます。後二輪の前方の固定棒がうね立て器取付け穴に，確実に入るように注意しながら行なってください。

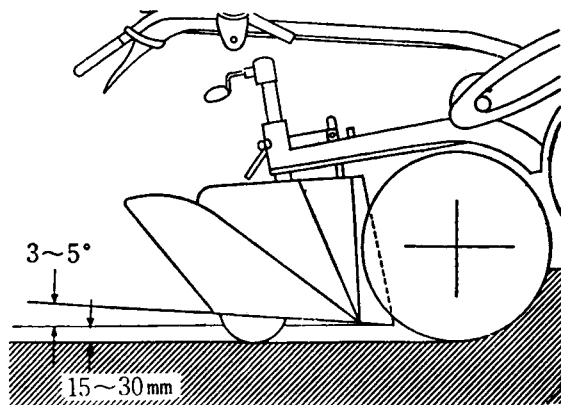
安全ポイント
- エンジンを停止して行なってください。

うね立器の取付け方

出荷別標準によって付属しているものと，付属しないものとがありますが，取付け調節は次のように行なってください。
まず機体を前方に倒しハンドル部をもち上げ，写真のようにうね立器の軸を耕うんカバー下方からうね立器取付け穴に通し，取付けボルトで締付けます。

安全ポイント
- エンジンを停止して行なってください。

うね立器の調節

うね立て作業においてゴム車輪，大径鉄車輪などによる取付け角度，取付け位置及び高さの調節は図のとおり行なってください。

付表

アタッチメント一覧表

■車輪類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92055−5031−4	55パイプ車輪完備	外径55cm	畑，乾田のすき耕	T5 T7
92056−0031−4	60パイプ車輪完備	外径60cm	畑・乾田のすき耕	
92056−5031−4	65パイプ車輪完備	外径65cm	畑・乾田のすき耕	
92055−5041−4	55パイプ車輪２形完備	外径55cm 上記パイプ車輪よりもけん引力が大きい	乾田，半湿田のすき耕	
92056−0041−4	60パイプ車輪２形完備	外径60cm		
92056−5041−4	65パイプ車輪２形完備	外径65cm		
92086−0014−1	60三角フロート車輪完備	外径60cmストレート形	半湿田，湿田のすき耕	T5 T7
92086−5014−1	65三角フロート車輪完備	外径65cmストレート形		
92087−0018−1	70三角フロート車輪完備	外径70cmアサガオ形		
92087−5018−1	75三角フロート車輪完備	75cmアサガオ形		
92066−5014−1	65水田車輪角ハブ完備	外径65cmアサガオ形 テーパハブ	水田，半湿田のロータリ耕うん，代かき	T5 T7
92067−0012−1	70水田車輪角ハブ完備	外径70cmアサガオ形 テーパハブ		
92066−0011−1	501水田車輪角ハブ完備	外径60cmテーパ形 平行ハブ		
92066−5015−1	502水田車輪角ハブ完備	外径65cmテーパ形 平行ハブ		
93067−0018−1	70湿田車輪角ハブ完備	外径70cmアサガオ形		
93067−5014−1	75湿田車輪角ハブ完備	外径75cmアサガオ形		
93087−0013−1	70袋湿田車輪角ハブ完備	外径70cmアサガオ形		
93087−5014−1	75袋湿田車輪角ハブ完備	外径75cmアサガオ形		
92057−5013−2	75マルチ車輪完備	外径75cm	タバコ，野菜のマルチ	T5 T7
92059−5011−1	95マルチ車輪完備	外径95cm		

■代かきロータ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92160−0031−2	211代かきロータ完備	外径45cm 取付け幅93.6cm	砕土，代かき 整地	T5 T7
92160−0032−1	212代かきロータ完備	外径45cm 取付け幅103.6cm		
92044−2011−1	214カゴ車輪完備	外径42cm 取付け幅92.5cm		
92160−0035−1	215代かきロータ完備	外径45cm 取付け幅127.2cm		
92160−0039−1	216双子ロータ完備	外径45cm 取付け幅118.2cm		

■湿田，田打ちロータ類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92161－0032－1	255湿田ロータ完備	外径45cm 取付け幅93.6cm	半湿田，湿田の耕起	T5 T7
92161－0031－3	254湿田ロータ完備	外径45cm 取付け幅103.6cm		
92161－0021－1	253田打ちロータ完備	外径42cm 取付け幅92.5cm		
92161－0035－1	251田打ちロータ完備	外径45cm 取付け幅127.2cm		
92161－0036－1	252田打ち車輪完備	外径45cm 取付け幅118.2cm		

■レーキ，ハロー類

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92270－1019－1	スプリングレーキ完備	全幅120cm	畑，水田の砕土整地	T5 T7
92270－1011－2	整地板付スパイクハローC	全幅100cm		
92270－1101－6	スパイクハローC	全幅100cm		
92270－1022－1	ロータリスプリングレーキ完備	全幅76cm		

■代かき装置

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
93272－1131－0	代かきレーキ40B	全幅134cm	水田の代かき	T5 T7
94272－0011－2	代かき装置	全幅180cm		
92273－0011－4	ライドレーカ	全幅130cm		

■ロータリ関係

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92192－1022－1	特殊代かきロータリ完備	外径30cm，全幅116cm	水田の代かき	T5 T7
92202－1036－0	T5畑用ロータリ	耕幅42～60cm	畑地の耕起	T5
92220－3012－1	ロータリうね整形板完備	うね高さ28～35cm うね底幅50～80cm	うね盛り	T7

■耕起ロータ類〔T602用〕

品番	品名	仕様	用途	兼用機種
92152－0052－2	ニュー10連ワンダーロータ完備	外径46cm 取付け幅117.2cm	水田の耕起	T5
92152－0054－1	ニューワンダー湿田完備	外径46cm 取付け幅117.2cm	半湿田の耕起	
92156－0018－1	角ロータ	外径46cm 取付け幅109.4cm	水田，畑の耕起	
92156－0019－1	延長角ロータ	外径46cm 取付け幅146.4cm		

■すき類

品　　番	品　　名	仕　　様	用　　途	兼用機種
92241－1001－3	松山双用一段すき	耕うん幅20cm 耕深18cm	水田，畑地のすき耕	T5 T7
92241－1014－1	松山湿田双用一段すき	耕うん幅18～24cm 耕深10～18cm		
92242－1001－3	松山田畑双用２段すき	耕うん幅18cm 耕深18cm		
92242－1004－1	松山双用２段すき	耕うん幅20～25cm 耕深15～20cm		
92241－2010－2	高北乾湿田兼用すき	耕うん幅22～24cm 耕深15cm		
92241－2019－2	高北田畑兼用すき	耕うん幅24cm 耕深15cm		
92242－2001－2	高北双用２段すき	耕うん幅18～24cm 耕深14～20cm		

■うね立て機類

品　　番	品　　名	仕　　様	用　　途	兼用機種
92221－7021－1	小川３号作溝器	みぞ底幅９cm うね高さ30cm	畑地のうね造り	T5 T7
92221－7022－1	小川４号作溝器	みぞ底幅12cm うね高さ30cm		
92221－7023－1	小川５号作溝器	みぞ底15cm うね高さ35cm		
92220－1019－0	クボタうね立て機４号	みぞ底幅10.8cm	水田，畑地のうね立て	T7
92220－1021－0	うね立て器301	みぞ底幅10.8cm		
92220－7011－0	うね立て器４号	みぞ底幅12.5cm		
92220－7012－0	うね立て器５号	みぞ底幅15cm		
92220－7013－0	うね立て器６号	みぞ底幅18cm		

■カルチベータ類

品　　番	品　　名	仕　　様	用　　途	兼用機種
92283－0014－2	5本爪カルチベータ	作業幅15～50cm	畑地の中耕	T5 T7

■ラセンスキ類

品　　番	品　　名	仕　　様	用　　途	兼用機種
93191－0107－1	ラセンスキ１形	取付け幅65cm 最大耕深18cm	うね盛り，掘割り	T5 T7
93191－0108－1	親子ラセンスキ２形	取付け幅40cm，85cm 最大耕深18cm		
93191－0109－1	延長ラセン	取付け幅26cm		
92170－1016－1	爪ラセン	ラセンスキ幅＋19cm		
92191－0106－1	残幹処理刀			
92221－5013－1	ラセンスキ用作溝器	溝幅22cm		T5 T7

■ロータリプラウ類

品　番	品　名	仕　様	用　途	兼用機種
93192－0101－1	4枚固定ロータリプラウ	取付け幅83cm 最大耕深18cm	うね盛り，掘割り	T5 T7
92192－0101－1	3枚固定ロータリプラウ	取付け幅62cm 最大耕深18cm		
92192－0029－1	ブラケットつき4枚 ロータリプラウ	取付け幅83cm 最大耕深18cm		
92192－0031－1	ブラケットつき3枚 ロータリプラウ	取付け幅62cm 最大耕深18cm		
92192－0019－1	跳出板つき補助プラウ			
92192－0018－1	補助プラウ	左右各1枚		
92192－0021－1	跳出板	左右各3枚，羽根に取付ける		
92221－3011－1	ロータリプラウ作溝器1号	溝幅27cm	水田，畑のうね立て	
92221－3012－1	ロータリプラウ作溝器2号	溝幅23cm		
92221－3013－1	ロータリプラウ作溝器3号	溝幅13.5cm		
93221－3014－1	ロータリプラウ用 作溝器(2号)			
93221－3012－1	スキガラ式高うね作溝器	溝幅26.8cm		

■その他

品　番	品　名	仕　様	用　途	兼用機種
92316－0011－1	調節式サポートB			T5 T7
92316－0012－4	サポート			
92316－0013－1	延長ヒッチ			
62182－5260－1	ユニバーサルヒッチ完備			

■特別付属品

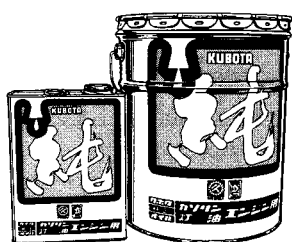
品　　番	品　　名	仕　　様	用　　途	兼用機種
62281－8331－1	丸ホイールチューブ700			T5 T7
62081－8334－1	六角ホイールチューブ 165	取付け幅46.8cm		T5 T7
92312－2012－1	T602用 ホイールウエイト完備	4.00－10タイヤ用20kg		T5 T7
92312－2016－2	T702用 ホイールウエイト完備	5－12タイヤ用30kg		T7
13241－8523－1	75マル平プーリ	外径7.5cm		T5 T7
13302－8528－1	90マル平プーリ	外径 9 cm		T5 T7
13302－8533－1	101マル平プーリ	外径10.1cm		T5 T7
62301－8310－1	T702用 プーリボスアッシ			
62341－8310－1	T602用 バランスウエイト16完備	8kgウエイト＋ボルト		
62341－8320－1	T602用 バランスウエイト21完備	13kgウエイト＋ボルト		
62362－8140－1	T702用 バランスウエイト38完備	13kgウエイト＋ボルト		
62362－8150－1	T702用 バランスウエイト33完備	8kgウエイト＋ボルト		
62151－8141－1	T602用 プーリボス			T5
62381－5260－2	ユニバーサルヒッチ アッシ			
62301－8320－1	T702用 プーリボスアッシ 2			T7
62362－8301－1	T702 継足し爪軸コンプ			
62252－8330－1	T702 爪取付け部品完備			
93189－1021－3	T702用 スイングセンタ完備			T7
92332－0016－1	T702用 後二輪完備			T7

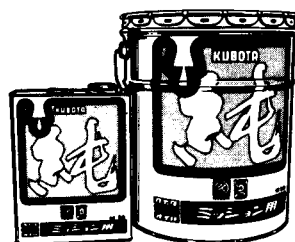
主要諸元

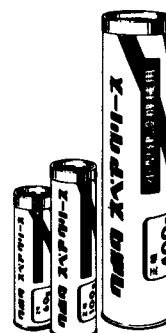
型式			T702		T602
区分			——	——	——
呼称			T702	T702－R	T602
機体寸法	全長	mm	2025		1820
	全幅	mm	655		655
	全高	mm	1050		1090
	輪距	mm	494～644		332～632
重量		kg	161(ロータリなし)	221	137(ロータリなし)
エンジン	名称		クボタGS280－TD		クボタGS280－TC
	形式		空冷4サイクル1気筒立形ガソリンエンジン		
	総排気量	cc	276		276
	出力／回転速度	ps/rpm	5.0／1700(最大7.0)		4.5/1500(最大6.5)
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量	ℓ	4.2		
	点火方式		無接点式マグネット点火		
	始動方式		リコイル式(防水型)		
タイヤ			5－12(有効径51.8cm)		4.00－10(有効径47.0cm)
主クラッチ方式			ベルトテンション式		
操向クラッチ方式			爪クラッチ		
制動方式			内部拡張式(駐車ブレーキ)		
変速段数	前進		6段		
	後進		2段		
	耕うん		——	4段(副チェーンケース入換えを含む)	——
走行速度	前進	km/h	1.11～12.99		0.91～12.86
	後進	km/h	1.34～2.28		1.09～2.26
PTO回転速度		rpm	低248，高422		低681，高1403
ロータリ	駆動方式		——	センタドライブ	——
	耕幅	mm	——	420～600	——

オイルは クボタ純オイルをお使いください。

オイルは，テーラーの開発研究から生まれたクボタ純オイルを，必ずお使いください。
市販のオイルを御使用になりますと，あなたの大切なテーラーの寿命を縮めることがあります。

■エンジンには‥‥
クボタ純オイル
ガソリン灯油エンジン用 G 30
G 20W 20

Z-1001

■テーラー本体には‥‥
クボタ純オイル
ミッション用　M 90

Z-1004

■グリースアップには‥‥
クボタスペアグリース

Z-1005

いずれもクボタが品質保証する最も適したオイルです。
お買い求めは，販売店・農協又はコスモ石油，日本石油，共同石油，昭和シェル石油のスタンドに御用命ください。

純正部品を使いましょう

農業機械の補修には，
安心して御使用いただける純正部品を，お買い求めください。
市販類似品を御使いになりますと，
機械の不調や，あなたの大切な機械の寿命を短かくする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは，
あなたの機械に一番よくマッチするように研究され，
厳重な検査を受けてから出荷されますので，安心して使っていただけます。
市販類似品を御使いになりますと，
作業能率の低下やあなたの機械の寿命を短かくする原因になります。

久保田鉄工株式会社

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556-91	電(06) 648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目３番２号	〒103	電(03) 245-3111
北海道支店	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44（札幌富士ビル）	〒060	電(011) 214-3111
東北支店	仙台市本町２丁目15番11号	〒980	電(0222) 67-9000
中部支店	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号（大東海ビル）	〒450	電(052) 564-5111
九州支店	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号（住友生命博多ビル）	〒812	電(092) 473-2401
内燃機器札幌支店	札幌市西区手稲東３北３丁目２番地２	〒063	電(011) 662-2121
内燃機器仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(02238) 4-5151
内燃機器秋田支店	秋田市寺内字大小路207番地54号	〒011	電(0188) 45-1601
内燃機器東京支店	浦和市西堀1228番地	〒338	電(0488) 62-1121
内燃機器新潟支店	新潟市上所上１丁目14番15号	〒950	電(025) 285-1261
内燃機器名古屋支店	愛知県一宮市観音町１番地１	〒491	電(0586) 24-5111
内燃機器金沢支店	石川県松任市下柏野町956－１	〒924	電(0762) 75-1121
内燃機器岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862) 79-4511
内燃機器米子支店	米子市米原569番地	〒683	電(0859) 33-5011
内燃機器福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092) 606-3161
内燃機器熊本支店	熊本県下益城郡富合町大字廻江846番地の１	〒861-41	電(096) 357-6181
内燃機器高松支店	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647の３	〒769-01	電(08787) 4-5091
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722) 41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286) 61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752) 5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720) 40-1121
堺部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722) 45-8601
宇都宮部品センター	宇都宮市平出工業団地38－16	〒321	電(0286) 63-6336
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町字大曲186－37	〒061-12	電(011) 376-2335
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752) 2293
枚方部品センター	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720) 40-1797

クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州) ●カナダクボタトラクター販売(株)(オンタリオ州)
ブラジル久保田鉄工(有)(サンパウロ市) ●クボタヨーロッパ(株)(フランス・アルジャントゥイュ市)
イランクボタ(株)(ガズビン市) ●インドネシアクボタ(株)(スマラン市) ●マレーシアクボタ農業機械(株)(セランゴール州)
タイクボタトラクター販売(株)(バンコック市) ●クボタマルスチール農業機械(株)(フィリピン・マニラ市) ●新台湾農業機械(株)(高雄市)

品番 62341－6321－3